

財団法人 8020 推進財団

平成 21 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：平塚市子育て支援歯科保健事業「はははプラン」

2. 申請者名：社団法人平塚歯科医師会 会長 荒井正博

3. 実施組織：社団法人平塚歯科医師会

4. 事業の概要：

社団法人平塚歯科医師会では平成 19 年度より、平塚市、平塚市医師会、昭和大学歯学部小児成育歯科学教室、神奈川県歯科衛生士会湘南支部平塚ブロックの協力を得て、“歯を通じた子育て支援”を目的とする「平塚市子育て支援歯科保健事業（はははプラン）」を実施している。本年度事業は①妊産婦歯科健診連絡協議会、②ははは手帳増刷・配布、③モデル健診の実施、④母子保健講演会の 4 つの部分からなり、母子保健対策事業検討委員会が管轄した。

5. 事業の内容：

母子保健対策事業検討委員会は歯科医師、医師、行政担当者、学識経験者の 11 名により構成され、平成 21 年度の開催回数は 7 回であった。

妊産婦歯科健診連絡協議会は歯科医師会役員と行政担当者が出席し、本事業の実施上の問題点を話し合った。

「ははは手帳」を増刷し、平塚市役所において母子健康手帳交付時におよそ 2,200 部配布した。モデル健診では妊産婦の歯科検診・保健指導・相談を実施した。受診者は妊婦 68 名、産婦 28 名であった。

母子保健講演会は平成 22 年 2 月 17 日(水)に開催され、歯科医師・行政母子保健事業関係者など合計 67 名が出席した。

6. 実施後の評価（今後の課題）：

本年度は、当事業に対する歯科医師会と行政担当者の意識の差を埋めることを目的に、妊産婦歯科健診連絡協議会を開催した。この場において、事業目的に関しての相互理解が得られ、本事業拡大のための方策を話し合うことが出来た。モデル健診後の受診者へのアンケートを見ると、事業に関しては概ね好意的な意見であったが、健診協力医個々の対応に関する苦言が若干あった。これは、本健診の対象者が妊産婦という特殊な時期の人たちだということに対しての、歯科医師の理解不足と考えられた。そこで、子育て支援の視点から健診を考えるための講演会を開催し、多くの出席者を得た。この講演会を通じ、健診を通じて子育てを支援することの理解が深まったと考えている。また、受診者数に関しては、産婦人科との連携を図るなど周知方法にさらなる工夫が必要と思われた。